

# セキスイ 緑化門柱 取扱・施工説明書

このたびはセキスイ 緑化門柱をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。  
お求めの製品を正しく使用していただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
なおこの取扱説明書は施工終了後、お客様にお渡しください。メンテナンス時にも必要ですので大切に保管ください。

〒105-0022 東京都港区海岸1丁目11番1号(ニューピア竹芝ノースタワー5階) TEL.03(5400)1849  
※記載しています製品仕様および構造は、品質向上のため予告なく変更する場合がございます。

## 施工者の方へ

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。

## 表示と意味

**警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

## 設計者の方へ

- 警告**
- 海岸地帯や重工業地帯などの過酷な条件下での使用にあたりましては、塩害などによる品質問題が生じる場合があります。ご使用に際しましては、弊社までお問い合わせください。
  - 実際の設計や施工にあたっては事前に十分調査の上、設置場所に応じた基礎を選定してください。設計・施工前の十分な事前調査や設置場所に応じた適切な基礎の設置がなされなかった場合、思わぬ事故につながる可能性があります。
  - 基礎の形状や大きさは、設置場所の土質・地形・設置場所付近の構造物などにより決定してください。
  - 軟弱地盤による地盤沈下については、十分考慮してください。
  - 100mm×100mmグリッドのメッシュフェンスは足がかりますので、ご使用になられる場所にご注意ください。
  - よじ登りなどが考えられるような場所に設置される場合には、50mm×100mmグリッドのメッシュフェンス(標準品)を選定するなどの対策をご検討ください。
  - 高さ15m以上の高所や風の強い特殊な地域などでの使用にあたりましては、事故につながるおそれがありますので、弊社までお問い合わせください。

- 注意**
- ご使用環境により品質の劣化が進みやすくなる場合がございますので十分ご注意ください。
  - 腐食性ガスや海水、あるいは砂塵にさらされるような環境では、短期間のうちに使用に耐えない状態になることがあります。

## 施工者の方へ

- 警告**
- 本製品に対し、みだりに改造・変更を加えないでください。
  - 部材には重量物も含まれ、倒れたり落ちたりすると大変危険ですので、取り扱いに十分ご注意ください。
  - ボルト・ナットなどの締め付け金具は、十分な締め付けを行ってください。不十分な場合、思わぬ事故につながる可能性があります。
  - 仕上げにモルタルを使用される際は、海砂は塩分が多量に含まれており腐食の原因になりますので、そのご使用はお避けください。

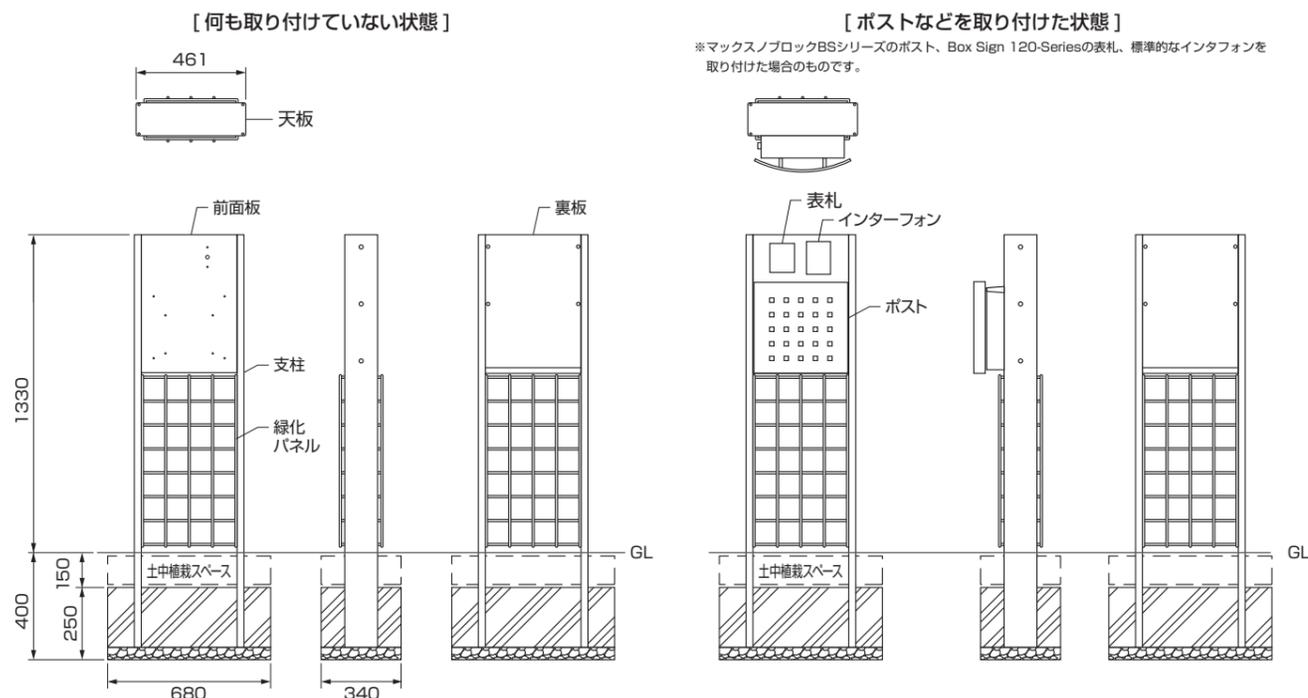
- 注意**
- 施工時に本製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに清掃してください。
  - また表面にキズをつけますと腐食の原因になりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

## ユーザーの方へ

- 警告**
- 緑化用フェンスに乗ったり、よじ登ったり、寄りかかったり、揺すったり、ボールをぶつけるような行為は、事故につながるおそれがありますので絶対におやめください。
  - 本製品のそばでゴミなどを燃やす行為は、火災につながるおそれがありますので絶対におやめください。

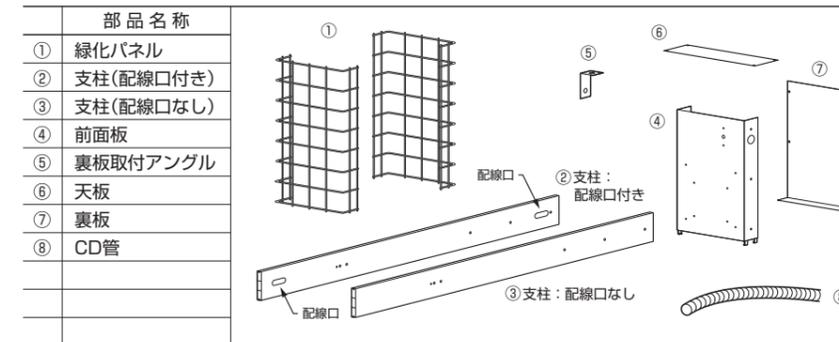
- 注意**
- あやまってキズをつけた場合、補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。
  - 長年ご使用いただきますとボルトやネジ類がゆるむことがあります。ボルトやネジ類は定期的に締め直してください。
  - 本製品のお手入れは、中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンなどの石油系溶剤は絶対にご使用にならないでください。

## 施工図



## ■施工の前に

※ 施工される前に必ず、納品された部材と納品書が一致するかどうかご確認ください。



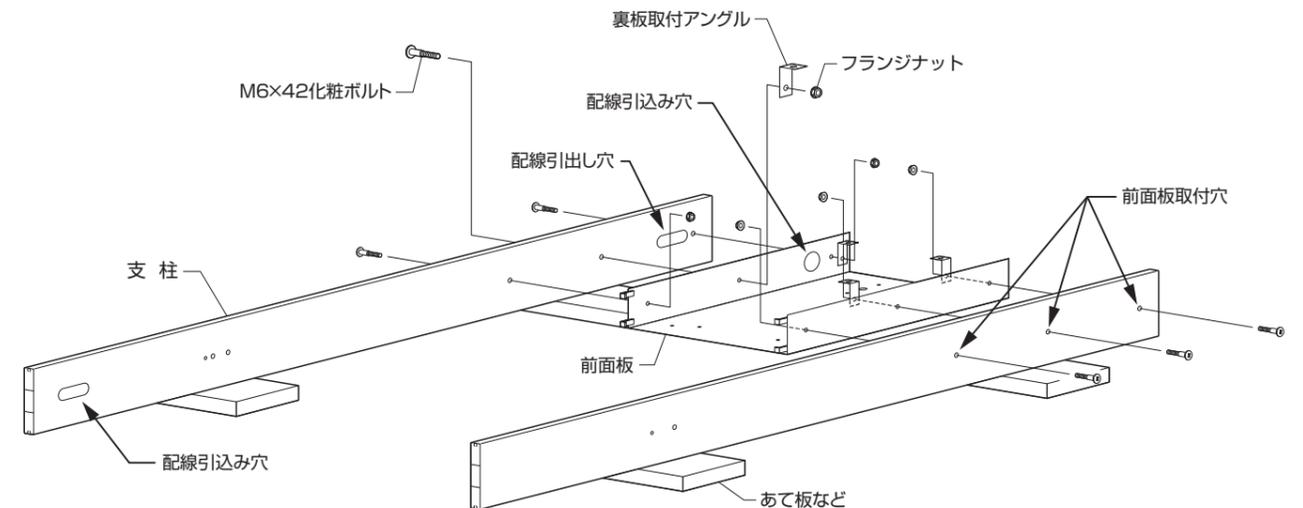
緑化門柱 ビス類一覧	
M6×42化粧ボルト	前面板 取付用
M4×10丸皿タッピングネジ	天板 取付用
M6フランジナット	-
M6×10トラスネジ	裏板 取付用
押え金具	緑化パネル 取付用
M6×40トラスネジ	押え金具 取付用
M6スプリング、ワッシャ	-
M4×10トラスネジ	インターフォン 取付用
M4×30トラスネジ	ポスト 取付用
M4ナット	-
M4フランジナット	-

## ■1. 支柱と前面板の組み立て

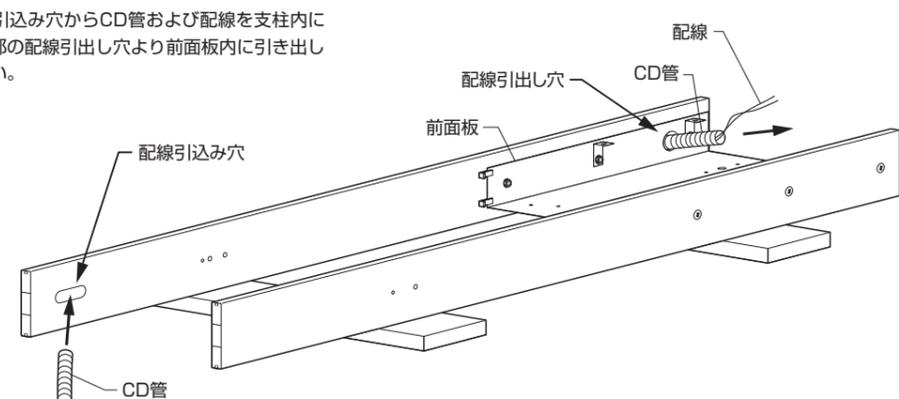
**警告** あて板などをして、製品にキズがつかないようにしてから作業を開始してください。

● 下図のように支柱の配線引込み穴と前面板の配線引込み穴を合わせて、支柱、前面板、裏板取付アングル(裏板取付アングルは、上の2つにだけに取り付けます)をM6×42化粧ボルト(+フランジナット)で取り付けてください。

**注意** 支柱には天地・左右の方向があります。  
※前面板を取り付ける穴が等間隔で3つ開いている方が上側です。  
また、配線を引き込むための穴を内側にする必要があります。下図を参照いただき、間違わないようご注意ください。



● 支柱下部の配線引込み穴からCD管および配線を支柱内に挿入し、支柱上部の配線引出し穴より前面板内に引き出しておいてください。



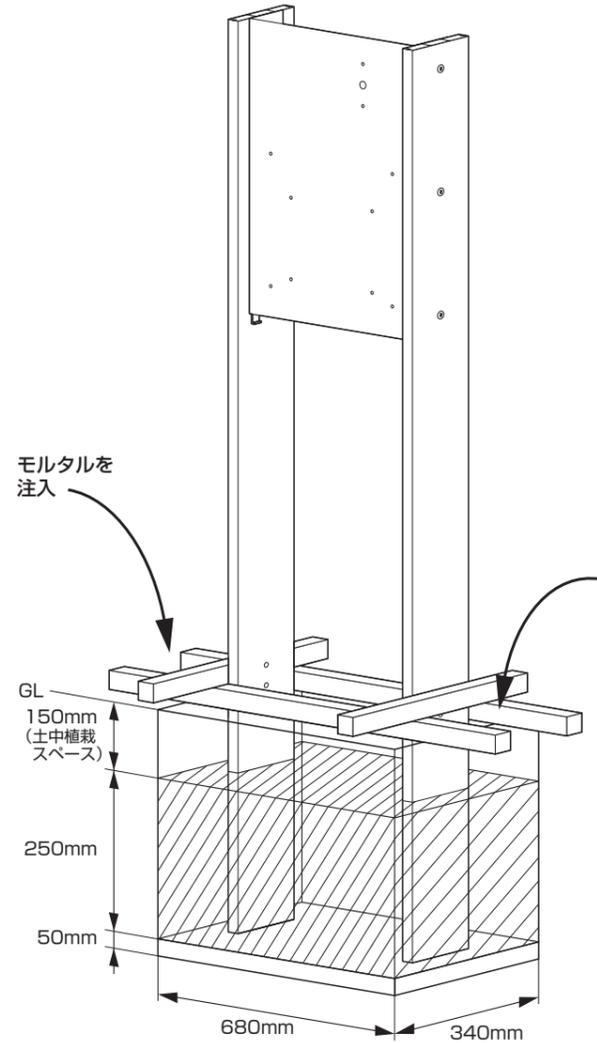
## ■ 2. 門柱の建て込み

●基礎孔を掘り、基礎下に栗石を敷き、組み立てた門柱を垂直になるように調節して建て込み、仮止めしてください。  
仮止め後、モルタルを基礎に注入し、門柱を固定してください。

⚠ モルタルは、地表から150mmの位置まで注入してください。  
※残った150mmの部分は、最後に植栽して埋め戻します。  
土中植栽スペースが不要の場合は、GLまでモルタルを注入してください。

⚠ 養生中は配線引出し穴やCD管に雨水などが入らないようにしてください。

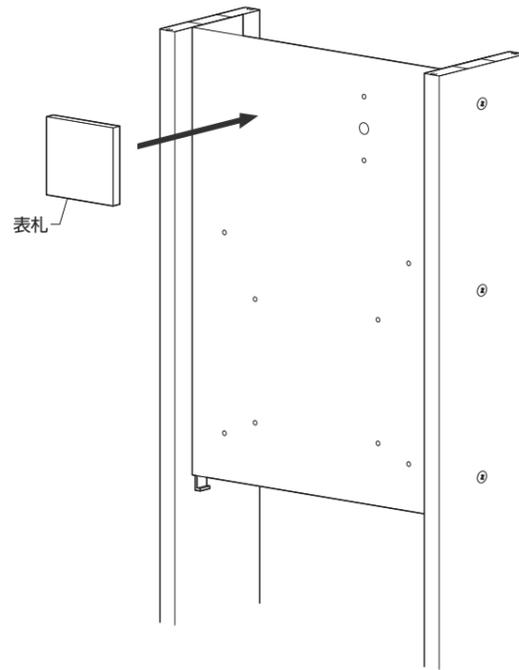
⚠ モルタルが固まるまで門柱が動かないようにしてください。



## ■ 3. 表札の取り付け

●前面板にご準備された表札を、それぞれの取付方法にしたがって取り付けてください。

⚠ 穴をあける場合は、穴あけ後、塗料でタッチアップをしてください。



## ■ 4. インターフォンの取り付け (標準的なインターフォンの場合)

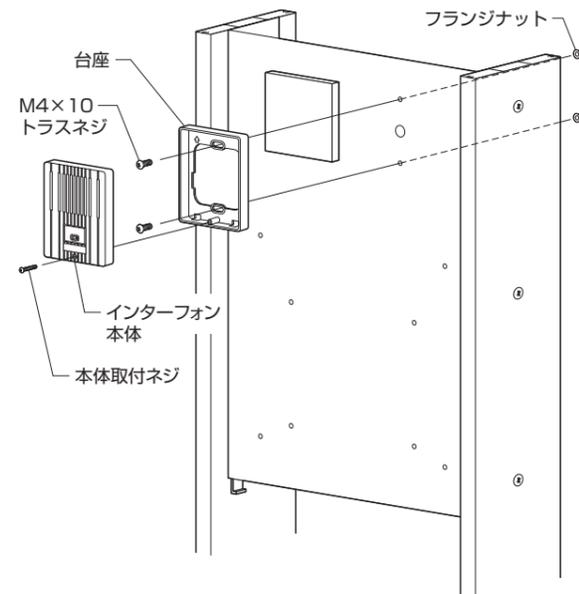
●前面板にインターフォンの台座をM4×10トラスネジ(+フランジナット)で取り付けてください。(2箇所固定)

⚠ 台座は、インターフォン本体を取り付けるビス穴がある方が下になるように取り付けてください。

●前面板内に引き込んである配線をインターフォン本体に接続してください。

⚠ インターフォン本体の取り付けおよび配線との接続に関しましては、インターフォンの取扱説明書を参照ください。

●台座に本体をかぶせ、本体取付ねじで取り付け固定ください。



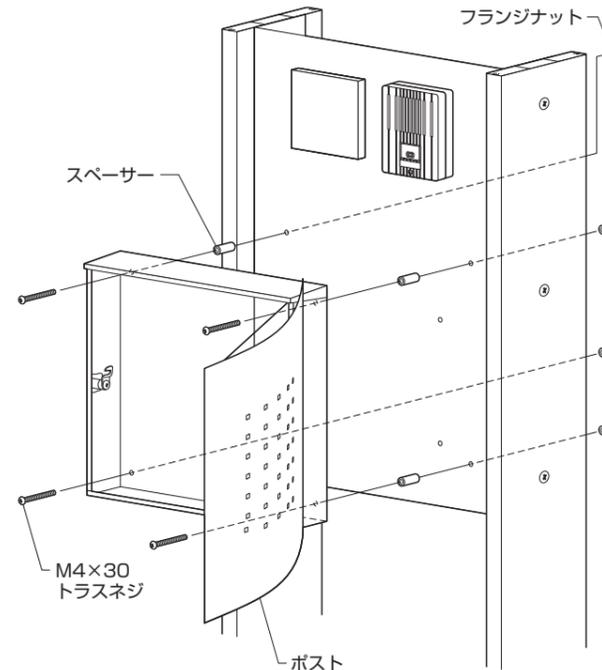
お願い

※本取扱・施工説明書で説明している表札、インターフォン、ポスト以外の取り付けにつきましては、現場にて対応していただきますようお願いいたします。  
※穴あけなどをされた場合は、塗料でタッチアップをしてください。

## ■ 5. ポストの取り付け (マックスブロックBSシリーズの場合)

●前面板とポストの間にスペーサーをはさんで、M4×30トラスネジ(+フランジナット)で4箇所固定して、取り付けてください。

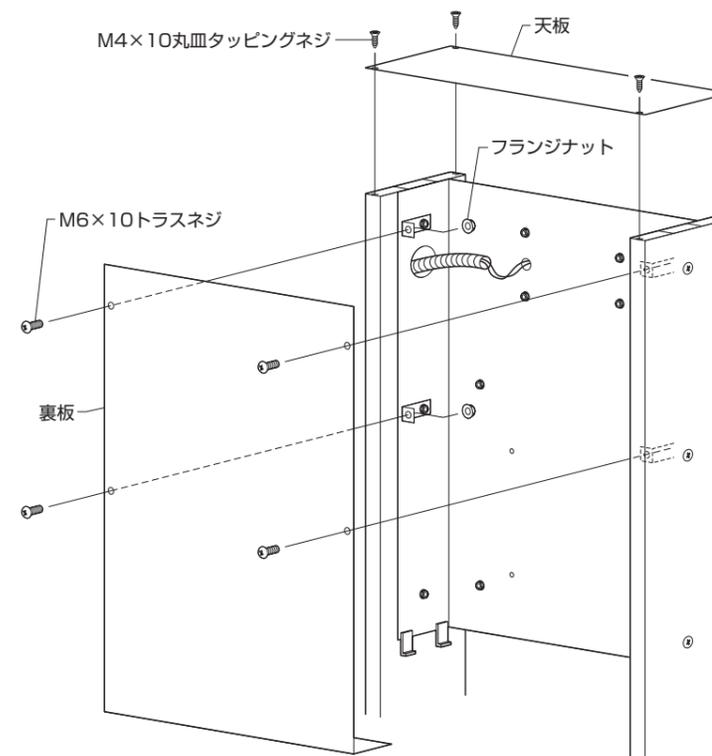
⚠ ポストは、最後に取り付けしてください。  
先に取り付けると表札などが取り付けにくくなります。



## ■ 6. 裏板、天板の取り付け

●裏板は、前面板の背後から裏板取付アングルに、M6×10トラスネジ(+フランジナット)で取り付けてください。(4箇所固定)

●天板は、支柱上部に合わせ、M4×10丸皿タッピングネジで取り付けてください。(4箇所固定)



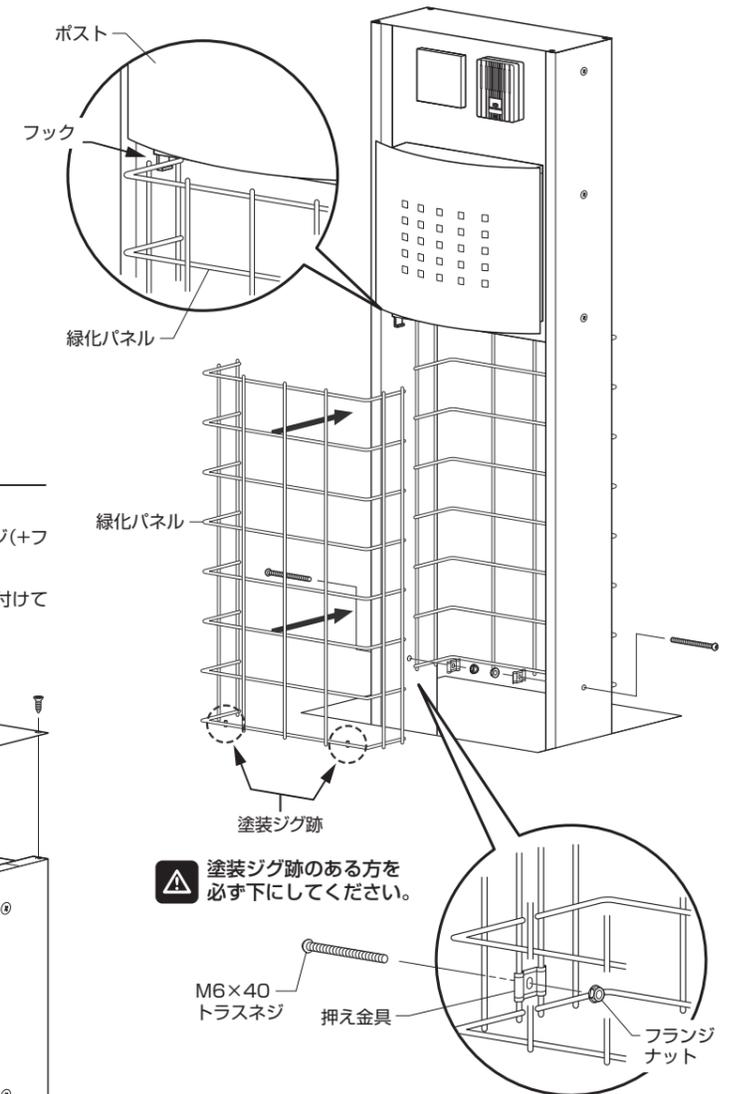
## ■ 7. 緑化パネルの取り付け

●緑化パネルは塗装ジグ跡のある方を下にして、パネルの左右どちらか片側からはめ込み、ポスト等取付板下部のフックにパネルの一番上の横線材を掛けてください。

反対側も同じようにして、反対側のフックにパネルの横線材掛けてください。  
●前面のパネルが取り付けが終わったら、背面のパネルも同じ要領で取り付けてください。

⚠ 塗装ジグ跡を必ず下にして、パネルをはめ込んでください。

●パネルがフックにしっかり掛かっていることを確認してください。  
前後のパネルの下部を揃え、隣り合う縦線材を押えるように押え金具をあてがい、支柱の外側よりM6×40トラスネジ(+フランジナット)を挿入して、締め付けて固定します。

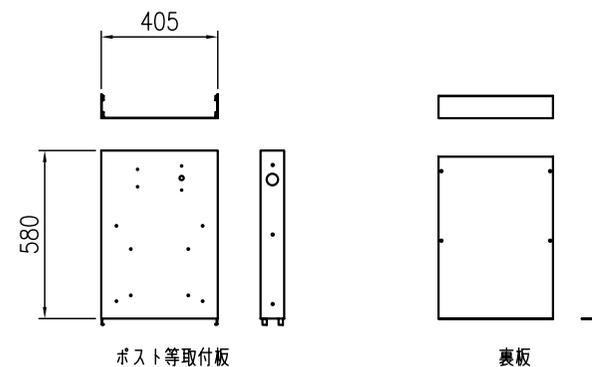
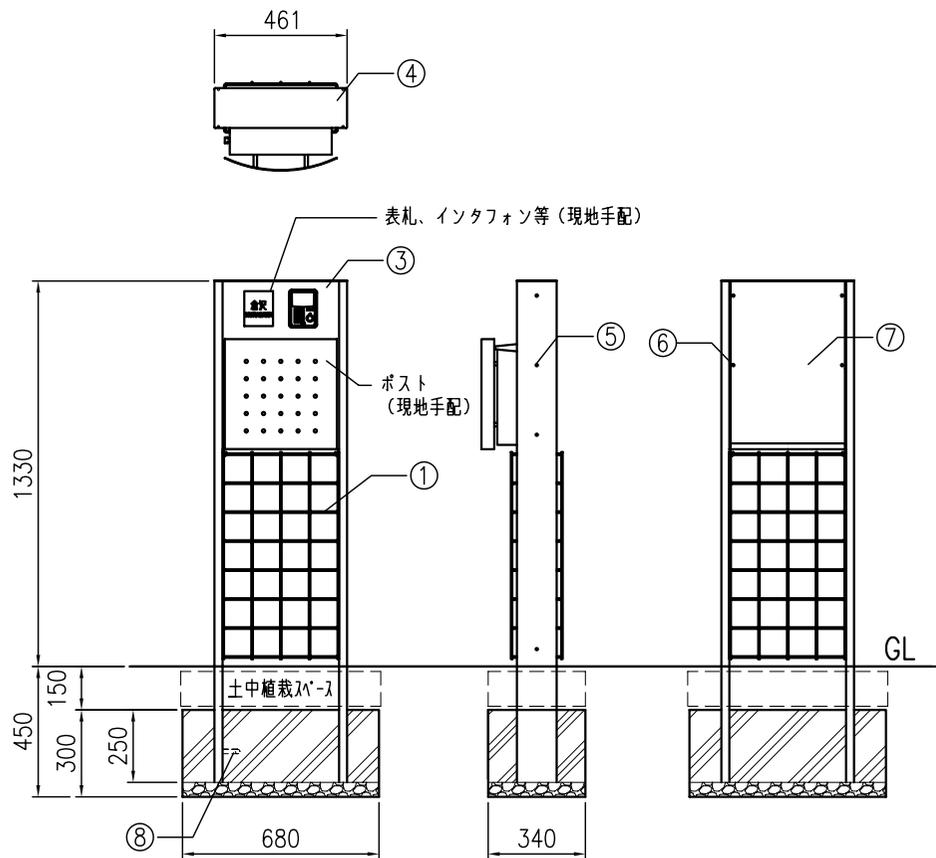


## ■ 8. 門柱下部の埋め戻しおよび植栽

●基礎のモルタルがしっかり養生されたことを確認後、基礎の植栽スペースを埋め戻して、植栽します。

### 緑化に関するご注意

- フジなどの強いツルを巻く植物は、緑化フェンスや付帯する構造物(建築物の壁面など)を大きく痛めるおそれがあります。  
そのような植物は、ご使用にならないでください。
- 落葉植物を用いられると、秋には落葉が発生し、ご近所にご迷惑をおかけするおそれがあります。
- 実のなる植物の場合、その実が落ちて思わぬ事故につながる場合があります。
- 植物に虫が発生した場合、思わぬ害を及ぼすことがあります。



部番	部材名	形格 (mm)	材質	摘要
①	緑化パネル	φ4.5	SWMGH-3	流動浸漬塗装 (下地亜鉛めっき)
②	支柱	138×28	木質樹脂アルミ複合材	-
③	ポスト等取付板	t1.6	SGH	静電粉体塗装 (下地亜鉛めっき)
④	天板	t1.2	"	"
⑤	取付板取付ビス	M6	ステンレス	-
⑥	パネル取付ビス	"	"	-
⑦	裏板	t1.6	SGH	静電粉体塗装 (下地亜鉛めっき)
⑧	CD管	φ16	-	-

\*本図面は「マックスブロックBSシリーズ」のポスト、「Box Sign 120-Series」の表札、標準的なインタフォンを取付けた場合です。